

テーマ

私から始めなければ、G20 海洋プラスチック問題

発行日
令和元年
8月15日
発行所(氏名)

滝野川小学校
第5学年児童

I このテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

今年6月28日、29日に大阪でG20が開かれました。何年も前から私はリサイクルに興味があり、学校の夏休みの宿題には、リサイクルドレスを作った事もありました。昨年は環境問題に取り組みポスターで、ウミガメの鼻にプラスチックストローが刺さってしまった絵をかきました。このテーマの記事を選んだのは、私が一番悲しく思っている事だったからです。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

① について

間伐材を有効活用しようと、スギを使った木のストローを作ったと、レストランで使われ始め、今年のG20の会場でも参加者が使用したり、展示されたりした。プラスチックごみ問題を社会全体で考えるきっかけになれば良い。

② について

日本は去年4月からレジ袋の有料化実施の意向をG20で表明した。でも他国より遅れていると指さすもある。町内のレジ袋をゼロに宣言した徳島県上勝町のNPO法人の理事長さんは、レジ袋やストローは、プラスチック全体では微々たるもので政府の計画は不十分であるという。
①と②を比べて分かったことと自分で調べてみたいこと。
①の記事では、プラスチックごみの一つのストローを木で作り、G20で注目を集めた。

②の記事では、同じくプラスチックごみのレジ袋の有料化も来年から日本で実施される様子。でも、ストローもごみ袋もごみ全体の中ではほんのわずかな量でしかないことが分かった。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

数年前からテレビなどで、世界のプラスチックごみが海に悪影響を及ぼすことをあて言っている。話題になりました。最近では有名なコーヒーチェーン店もストローを、プラスチックでは無いものに変えること、しばらく前にニュースで見ました。ストローは、なかなか持ちにくいものを持て行きます。また、お弁当を買って持ち帰る時には、レジの人に「わりはしいりません」と言います。私はそれをいつも見ていて、「家族3人分で少しだけだとゴミを減らして、海の生き物たちも元気になる」と思っています。この前はアジアの国、特に先進国ではない国の沿岸には、大量のプラスチックゴミが漂っている事を知りました。そのゴミは、その国の物ではなく、近隣の他の国の物でもごみになりました。私はまだ10才ですが、今でもこの事を考えて、入ったボートではなるべく水とゴミを持ち歩いています。世界中の人々が同じ様に「私から始めなければ」と思えば、きっときれいな海が戻って来るのだと思います。